

第16回 全国大会・研究発表大会 学生研究奨励賞 受賞記

青山学院大学 社会情報学部 丹野怜奈

この度は学生研究奨励賞を授かりましたこと、大変光栄に思います。ご指導いただいた松澤先生をはじめ、学会ご関係者および学会参加者の皆様へこの場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

今回発表した「シナリオ分析に基づく業務に寄り添う小規模事業支援システムの設計」は開発者と顧客のコミュニケーションの有効手段と言われるシナリオと小規模事業の組み合わせに着目しました。シナリオを用いて開発したシステムは顧客の業務に寄り添うことはできるのかを実際の療術院での開発を通じて検証しました。本研究のテーマである「患者と店主双方にとって良い予約」を実現するにあたり、ヒアリング内容をもとに業務シナリオを作成し、分析を行いました。シナリオは考えられる全パターンを抽出する必要があり、1つでも欠けているとシステム設計のミスに繋がってしまいます。実際、1回目のパイロットテストでは予定を追加するシナリオを作成していなかったことで、画面設計のミスが生じてしまいました。全パターンを抽出したシナリオを作成する難しさを痛感しましたが、業務知識が増えていくにつれて開発するシステムの方向性が見えてくることがモチベーションとなりました。2回目のパイロットテストではプロトタイプは高評価で、本番システムとして2ヶ月間使用されています。開発したシステムを店主に喜んで使用していただけていることが何よりも嬉しいです。

発表後は参加者の皆様より本研究の進展となる様々な視点からのご質問・コメントをいただきました。心より感謝致します。いただいたご意見を踏まえ、改めて「患者と店主双方にとって良い予約」とは何かを議論していくと共に、店主により喜んでもらえる業務に寄り添うシステムとなるよう、より一層尽力していく所存です。以上を持ちまして本受賞記を締めくくらせていただきます。